

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農産園芸課長 森上 浩平	電話番号	0852-22-5123
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	農作業安全推進事業		
目的	(1) 対象	農業者	
	(2) 意図	農作業が事故なく安全に実施できるようにする。	
事業概要	農作業中に発生する事故（熱中症対策も含む）を防止するため、農業関係者に対し、農繁期に農作業安全運動を展開し、啓発資料などの作成・配布を行う。また、農業機械の安全性を確保するため、農業者や農機販売事業者に対して、農業機械士の育成や農業機械整備施設の設置を推進する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度					単位	
			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		
指標名	農作業事故死亡件数	人口動態調査の死亡小票から調査した農作業事故死亡件数（前々年分）	目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	人
			実績値	3.00	15.00	11.00	H27調査予定		
			達成率		0.00	0.00	#VALUE!		
式・定義	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	0	0
うち一般財源(千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・国が行う事業と連携し、春と秋の農繁期に農作業安全週間を設け、啓発活動を実施するとともに、県ホームページに死亡事例や「ヒヤリ・ハット事例」などを掲載し、農業関係者の意識向上を図った。  
 ・平成25年度に起こった死亡事故は11件であった。  
 ・全死亡件数に占める熱中症（疑い例も含む）による死亡件数の割合が高くなってきている（H24:約7%→H25:約27%）。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・農業機械士技能検定試験を実施し、5人が新たに農業機械士となった。  
 ・平成24年度より死亡事故件数が減少した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- 死亡事故件数は減少したものの、10件を超える件数である。
  - 熱中症に起因する死亡事故が増えてきている。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 各地域の農作業事故に対する危機意識が希薄である。
  - 啓発している内容が農業関係者にうまく伝わっていない。
- ③原因を解消するための「課題」
- 各地域における現状分析（地域農業の実情と事故内容など）が必要である。
  - 関係機関と協力し、各地域で農作業安全に対する意識向上を図る体制づくりが必要である。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・「声かけ」運動など地域の農業関係者が常に農作業安全を意識するような啓発活動の展開について検討する。  
 ・警察など関係機関と連携し、地域における活動体制づくりについて検討する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）